

# 一期一会

皆さま、あけましておめでとう  
ございます。本年もよろしくお願  
い申し上げます。

昨年はコロナ一色に終始した一  
年だったと言えますよね。強制的  
な「パラダイムシフト（価値観の  
転換）」によって、自分がこれま  
で常識と思っていたことに変革が  
起きました。良くも悪くも変わら  
ざるを得ない状況となりました。  
「オンライン」という言葉が象徴  
するように、デジタルの世界が一  
気に広がりました。Zoomアプリ  
などを使用したオンライン会議な  
どが当たり前の日常に様変わりし  
ました。とは言え、そもそもデジ  
タルを扱えない方もおられると思  
いますが、そのような方にとつて  
は、非常に窮屈な一年だったのだ  
はないかと拝察いたします。

お寺でもコロナの影響が著し  
く、様々な行事の中止や自粛、縮  
小などを余儀なくされました。ウ  
イルス感染防止を徹底すること  
で、精神的にも肉体的にも多大な  
影響を受けられた方も少なくない  
と思います。

一方で、この機会だからこそで  
きる何かにチャレンジされた方も  
おられると思います。例えば、何  
かの資格を取得したり、読みかけ  
だった本も一気に読み進められる

とか、趣味の世界に没頭されるな  
ど、銘々に時間の使い方は様々だっ  
たと思います。

私自身はYouTube（「谷川寛敬」  
で  
検索）を定期的に更新させて頂くよ  
うになりましたし、資格の取得に関  
しても、『瞑想（めいそう）』の深  
い概念を学び実践することで、『瞑  
想インストラクター』の称号を獲得  
させて頂きました。非常に有意義な  
一年だったとも言えます。

人間には「運が良い」という事  
と、「幸せ」という事があります。  
この「運が良い」ということと「幸  
せ」とは、別の問題です。また、運  
が悪いことと、不幸せとも同じでは  
ありません。運が悪いなあと思う人  
でも、幸せという人はいるもので  
す。

同じ状況、同じ時間を過ごすの  
に、幸せな人と、不幸せな人がいる  
というのは面白い現実ですよね。何  
が不幸せを分かつか？それを決め  
るのは自分の「心」ただ一つです。  
だとしたら、自分の「心の軸」をち  
やんと持った方が、幸せを噛み締め  
ながら、ありがたく過ごせるという  
ものです。

本日は皆さまよくご存知の「一期  
一会（いちごいちえ）」について味  
わいながら、出会いの不思議さ。ま  
た「お裾分け」という日本の風習に  
ついて、考えていきたいと思いま  
す。

それでは早速「一期一会」につい  
て解説させて頂きます。「一期」と  
いうのは、人が生まれてから死ぬま  
での間、すなわち「一生」を指しま  
す。「一会」とは「一度の出会い」  
という意味を持ちます。つまり一期  
一会とは、一生に一度の出会いであ  
り、二度とないこと、という意味に  
なりますね。

「一期一会」と言えば、井伊直弼  
（いいなおすけ）の『茶の湯一会集  
（ちやのゆいちえしゅう）』の中に出  
くる言葉が浮かびます。

『抑（そもそも）茶湯の交會（こう  
かい）は一期一会といひて、たとへ  
ば、幾度おなじ主客交會するとも、  
今日の會にふたゝびかへらざる事を  
思へば、実に我（わが）一世一度の  
會（え）なり』

つまり、「そもそも茶の湯におい  
ては、一期一会と言って、何度も同  
じ主客と茶会をすると雖も、きよう  
の會は2度とありません。そんな事  
を思えば、今日のこの會は、我が人  
生において一世一度の茶会である事  
を噛み締めた。そんな、格調高  
い、有名な、名言です。

交會（こうかい）というのは、お茶  
会の、集いのことですね。同じ御席  
で、同じ亭主と客で、同じ道具で、  
同じお菓子をいただいたでも、「い  
ま」は「いま」しかない。瞬（まば  
た）きしている間に、「いま」は  
「いま」でなくなってしまう。

この交會（こうかい）は、自分にあ  
つては、一生にただ一度のものであ  
る。だから、「一期一会」というわ  
けです。

「一期一会」、会った時が別れの時  
なのです。物事はすべて、出会った  
時が別れの時なのです。だから巡り  
合いを大事にしたい。巡り合いとい  
うのは、本当に不思議なご縁です。  
巡り合うことによって何かを頂戴  
し、また何かを差し上げる。その縁  
で少しでも成長できてこそ、そこに  
巡り合いの尊さがあるのだと思いま  
す。

それは犬や猫に対しても、植物の花  
に対しても、感情を持っていないよ  
うな茶碗やコップなどに対しても、  
品物を扱うときは全て、その出会っ  
た時が、そのまま別れの時でもある  
のです。だから人間関係は勿論のこと、身の回りの品物をも大事にしな  
ければなりません。

また日本には、「お裾分け」という  
風習があります。関西では「福分  
け」と言うようですが、いただいた  
お菓子とか何か珍しいものを、自分  
だけで食べてしまわないで、周りの  
人にも、その一部を差し上げて喜び  
を共にする。これは日本の素敵な風  
習ですよね。「お裾分け」をするの  
は、何も品物に限ったことではあり  
ません。喜びを分かち合うですと  
か、悲しみを受け止めてもらう。そ  
ういった事も、皆で分け合って、心  
を豊かにしていく。

その心があつて初めて、巡り合いの尊さに、血が通い出すのだと思います。

それが、ご縁を生かす事になるのだと思います。そんなことを思う時、一期一会の大切さが身に沁みます。「一期一会」とは、何事も、一生に一度のものとして心得て、誠心誠意を尽くして、臨むべきです。「いま」という瞬間を味わうことのできる、そんな命の尊さを詠っているのだと受け止めたいと思います。今は今しかありません。今は2度と帰ってきません。だから、今を大事に巡り合つていかなければなりません。いま、ここで、仏様が説法をしていらつしやるという意味の「今現在説法（こんげんざいせつぽう）」。常にここにあって、仏様はここで説法をしていらつしやるという「常住此説法」。特別な時、特別な所だけではありません。いま、ここで、この説法をしていらつしやる。だから「いま、ここ」を大事にしなければなりません。人との出会い、物との出会い、時との出会いを大事にするところに、一期一会の建設的な意味合いが生まれます。

あの未曾有の天災を経験した、ある女子大生の感想です。

「何もかも当たり前だと思つていた。その当たり前前だということが間違いだと思つた時、私は本当

の幸せに気付く事ができましたと：」。

蛇口をひねれば水が出た。スイッチを押せば明かりが点いた。お金があれば何でも手に入る。それが当たり前だと思つてきた。ところが、それは当たり前ではありませんでした。蛇口をひねっても水は出ない。スイッチを押しても明かりは点かない。スマホを持っていても、アプリがどんなに優秀でも、全部役に立たなくなつてしまつた。そして水が出た時の嬉しさ。明かりが点いた時の喜び。人と人が紡ぐ絆の尊さ。

知識と知恵は違います。「知識」というのは、ある事柄について知つている。認識・理解していることです。また「知恵」というのは、自分で考えて、自分で行動することですね。

こんな川柳が新聞に載つていました。「蛇口から 水が出るよと 拝む母」あの女子大生は。当たり前が間違いだと思つた時、仏教で言う無常の人生観を、理解することができたのだと思います。何もかも、いつどうなるかわからない。それが当たり前なのだと思つて、私達は毎日有り難く、生きていきたいものですよ。一期一会：全てがそうなのだと考えます。

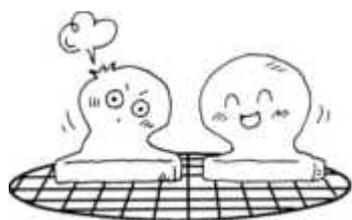
災難なら災難、病氣なら病氣に出会ふ。逆境と言われるような出会いを、苦境という巡り合いを、それを生かすことによつて、豊かな人間になつていく。それが一期一会を生かしていくことだと思つています。

特別の場所で改まったことをするのが、信心や信仰ではありません。日常生活の中に一期一会という出会いを大事にする願ひがあつてこそ、働くことや、生活そのものがそのまま、自分の心を豊かに育て上げます。また、人様の心を豊かにする事にも繋がると言つては過言でしょうか？一人一人との出会い、一つの出来事、一つの物、そんな様々な出会いを大切にしたいものですね。

「一期一会」は会つた時が別れの時なのです。何事も、出会いも大事にしておかなければなりません。何事も「一期一会」です。言葉を、行いを、物を、全てを丁寧に扱わなければなりません。

新たな一年が始まりました。皆さまの前途に幸多かれと、心より御祈念申し上げます。

合掌 副住職 谷川寛敬



◀ YouTubeチャンネル

『谷川寛敬』。

「チャンネル登録」& 「高評価」よろしく願ひします。

YouTube (YouTube) 『寛敬の部屋』を配信中です。

左記のQRコードからも入れます。



皆さまから届いたリクエストや、質問などにも、お答えしていきます。YouTubeチャンネル

## 『寛敬の部屋』

ご視聴よろしく願ひします。

### ◎ 唱題行脚

- ・ 毎月二十八日
- ・ 午後一時半から

先月の参加者

副住職・高田富美子・谷川まり子・谷川知世